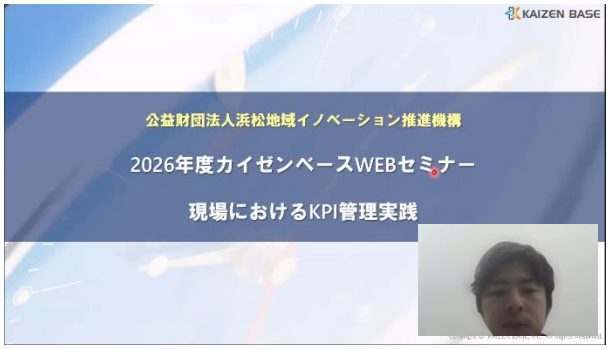
■　自動車工学関連講座（中堅技術者向け Web セミナー）
第５回「現場における KPI 管理実践」（会員限定）

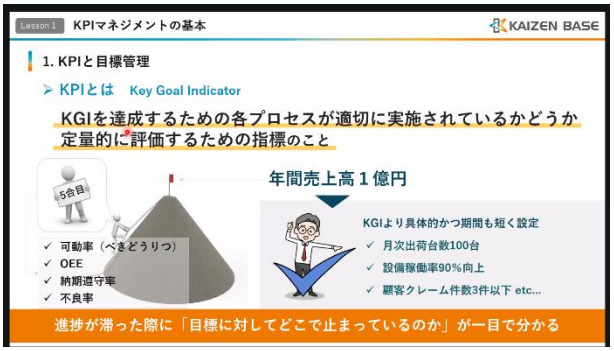
次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様から希望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、自動車工学関連講座の一環として、中堅技術者向け Web セミナーを開催しています。

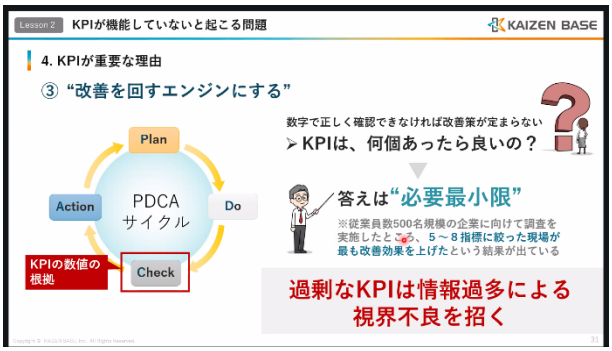
本年度も、多くの社員の皆さんが自社内で受講できる機会を企業力アップにご活用いただくため、カイゼンベース社を講師に、昨年度から内容も見直し、６回連続の Web セミナーとして順次実施しています。

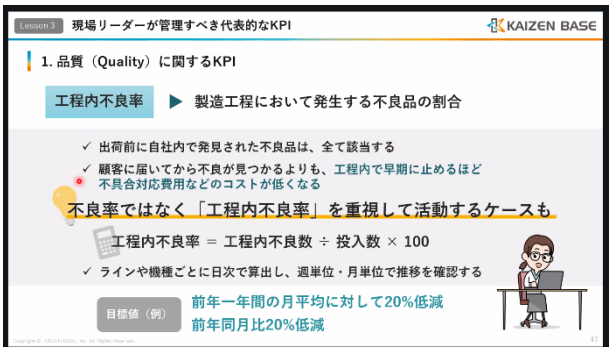
今回は、第５回として「現場における KPI 管理実践」を Web セミナー形式で開催しました。

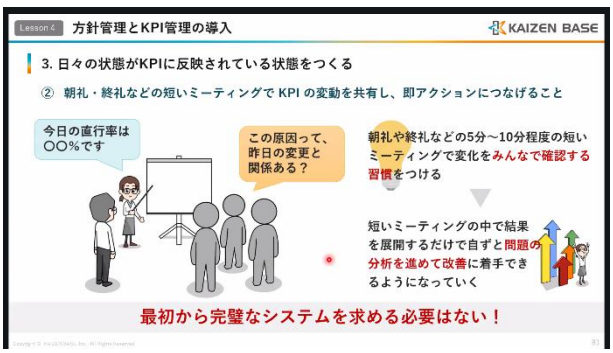
■日　時　：　２０２６年１０月２１日（水）13 時 30 分～15 時 30 分
■場　所　：　Ｗｅｂ形式
■参加者　：　５０社／２４２名

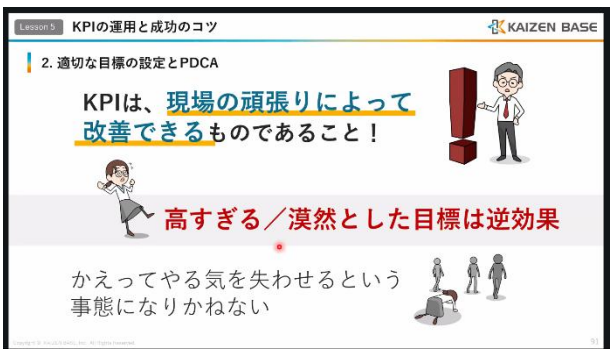












【参加者の声】

・DX を進めていく中で、KPI をどう設定していくか悩んでいたが、非常に参考になった。特に、現場データをどのように活用していくかの視点でも参考になった。
・課題を感覚だけで判断せずに、数字で定量的に確認、評価する大切さを再認識した。不良率や設備の停止時間など管理する項目を絞って、日々の改善に役立てたいと思った。
・最終目標の指標の KGI と目標の途中の指標の KPI を製造現場で管理する方法について、知ることができた。KPI は品質や設備、生産性・効果に関するものがあって、KPI は１つではないこと、必要最小限で回すこと、KPZ の偏りに気をつけることが大切であることについて知ることができた。
・KPI の目標達成のための計画の立て方や進め方が参考になった。優先度を決めて進めていく大切さ、KPI の種類についても参考になった。
・目標を達成するためには KPI の実践が必須であること、なによりもチーム全体が KPI 活動に取り組むことで、活動の見える化につながることを理解した。
・KGI 達成のための KPI マネジメントで、具体的な管理項目やそれに対する管理指標まで細かくご説明いただき、今後の業務で直接的に活用できる内容で大変参考になった。
・KPI 設定のポイントで、SMART の法則に沿って目標の設定ができているのか、自部署の目標をその視点で見直してみたい。
・稼働率は、経営層目線での市場需要に対してどれくらい設備負荷が発生していること、一方、可動率は、現場指標でムダなく設備が使用できていることにフォーカスする必要があることを理解した。
・KGI との整合性が取れていなければ、KPI を設定しても KGI 達成にはたどり着かず、また現場がなぜその数字を目標としているのか理解していなければ、行動している意味がわからず KPI 自体が進まず、これもまた KGI 達成にたどりつかず、的を射た目標と従業員１人ひとりの理解が必須だとわかった。
・仕事をする上で、KPI の重要性を知ることができた。現場リーダーが管理すべき KPI については、これからはもう少し意識しながら業務を行っていきたい。
・さまざまな KPI を計算式で表していることで、なにをどうすれば良いかとてもわかりやすかった。KPI の大切さがとても身についた。
・KGI と KPI の違い、KPI 設定のコツ（SMART、5W1H）、直行率、稼動率と可動率、など勉強になった。
・KPI など用語の定義や考え方などは理解していたが、KPI が KGI などの上位方針としっかり結びつくように設定できているか再確認するべきだと思った。また、品質や納期などの一般的なものだけではなく、人材育成・士気に関する KPI という視点もあることを理解できた。
・何となく実施していると何が目標で、現状がどうなのかがわからなくなりがちだが、KPI を設定することで目標を関係者で共有化でき、またその目標までにどのくらいの差があるのかを見える化できると感じた。
・製造現場を主な対象とした内容で、開発部門の KPI とは指標の置き方に違いがあるが、上位目標（KGI）と結び付けて進捗を管理し、改善につなげる考え方は、参考になった。KPI マネジメントの流れ（設定、見える化、モニタリング、原因分析、改善・標準化、共有と学習）を体系的に整理できた。
・KPI の設定から進捗確認、改善につなげる方法まで、現場で実践しやすい形で学べたため参考になった。日々の業務を数値で振り返り、具体的な行動改善につなげる大切さを理解できた。